

地域ネットワークニュース

～平成24年5月の勉強会のお知らせ & 4月の勉強会報告～

第172回 地域ネットワーク勉強会

発達障害児の

幼児・学齢期から始める就労準備! (後編)

～卒業後の自立に向けて今できること～

講師: 茨城県発達障害者支援センター 大野真裕氏 (センター長/臨床心理士)

※開催時間に注意!

5月24日(木)

午後1時～午後3時

神栖市保健・福祉会館内



4月の勉強会では学齢期以後の社会生活と就労に必要な身辺自立や学業面、対人面、遊びや余暇の過ごし方などの基本的な生活習慣について講演して頂きました。

◆ 今月の勉強会は『卒業後の自立に向けて今できること』がテーマです。基本的な生活習慣が定着し、いざ就労に向けて準備を進めていても、自己評価と雇用先からの評価に大きな差があると、職場に馴染めなくなり、自信を喪失してしまう恐れがあります。そこで、“就労”を目指すために必要な適性・適応能力の考え方や本人の得意・不得意(苦手)の認識の重要性、企業(雇用先)に求められることなどをお話頂きます。

発達障害者支援センターや障害者就業・生活支援センター、障害者職業センター、ハローワークなど、就職に関する相談ができる窓口はありますが、学齢期に就労に向けた心構えと様々な準備をしておくことがこれらの支援機関を有効に活用できるポイントとなります。

保護者の皆様、特別支援教育コーディネーター、支援機関の職員、企業人事担当の方々の参加をお待ちしております。

※事前申し込みが必要です。別紙申込書もしくは電話にてお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先: 神栖市社協 地域福祉推進センター 担当: 三浦 電話 0299-93-0294

第171回 地域ネットワーク勉強会報告 4月26日開催 (参加者36名)

発達障害児の幼児・学齢期から始める就労準備! (前編)

～基本的な生活習慣を身につけよう～

講師: 茨城県発達障害者支援センター 大野真裕氏



『幼児・学齢期から就労準備を始める』と聞いて、まだ早いのでは?と感じられる方も多いと思います。しかし、発達障害児にとっては「就労準備=自立のための準備」となり、早い段階から準備を進めることによって、将来的な選択肢が広がっていきます。

前編の今回は、“基本的な生活習慣を身につける”ということで、出かけるときの準備や一人で買い物をする準備の方法などを、大野さんに写真でわかりやすく説明頂きました。

発達障害を抱える方は、代表的なものとして、ルールやマナーの理解、人とのコミュニケーション、注意力・集中力が保てない、環境の変化に対応できないなどの困難さを感じています。そこで、自立に向けての重要な要素として、『自尊感情、有能感』を育てるというお話がありました。この2つの感情は、注目されたいという子どもの気持ちに込め、上手に褒めることによって育まれていきます。また、褒める時は「本来やらなければならない行為の手前の行動に取りかかれたら褒める」という“25%ルール”を使うと有効的であるという支援方法も教えていただきました。